

H29年度編入学試験結果報告

| | | | |
|-----|-----------------|------|---------|
| 大学名 | 京都大学 地球工学科 (合格) | | |
| 受験日 | 8月29日, 30日 | 受験場所 | 吉田キャンパス |
| 氏名 | JIN | 学籍番号 | |

1. 試験内容 (適正, 一般教養, 専門等に項目を分けて説明)

・英語…TOEFLスコア提出 (5月7日にTOEFLibtを受験し、47点で提出)
 ・数学(2時間)…大問4つ(微分方程式、確率、行列、積分の計算と証明)
 ・物理・化学(2時間)…物理：大問2つ(万有引力に関する問題、マクスウェルの方程式)
 化学：(計算問題、電子配置、反応経路など)
 ※過去問参照
 自己採点：数学 7割、物理 4割、化学 4割

2. 面接内容 (具体的にどのような形式で、その質問内容を説明)

・志望動機
 ・併願校
 ・明石高専での学校生活
 ・卒業研究は何をしているか
 ・水理学：ベルヌーイの定理、比エネルギー、フルード数について式を用いて説明
 ・地盤工学：ダルシーの法則について式を用いて説明 等
 ・衛生工学：上下水道のプロセス、BODとCODについて説明
 ・京大に入学後、どのような勉強・研究をしたいか

半分程度しか答えられませんでした。
 面接官は4人、所要時間は20分でした。

3. その他

| | |
|---|--|
| <p>使用教材</p> <p><英語></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ TOEFLテスト英単語3800 (旺文社) ・ TOEFL ETS公認ガイド (ETS) <p><数学></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 編入数学過去問特訓 (聖文新社) ・ 数学 徹底演習 (森北出版) ・ 基礎 解析学 (裳華房) ・ 細野真宏の確率が本当によくわかる本 (小学館) ・ 大学編入のための数学問題集 (大日本図書) ・ ベクトル、行列、行列式 徹底演習 (森北出版) | <p><物理></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 物理のエッセンス (河合出版) ・ 基礎 物理学演習 I, II (サイエンス社) ・ 大学生の力学 (東京図書) <p><化学></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 化学の新研究, 新演習 (三省堂) ・ 大学への橋渡し 一般化学, 有機化学 (化学同人) |
|---|--|

4. 感想

英語, TOEFL47点は例年より低い点数だと思います。TOEFLは短期間で高得点が取れるようなものではありませんので英語が苦手であれば、語彙力を増やして臨みましょう。あとはネットでTOEFLについて調べることがオススメです。

数学は例年に比べてクセのある問題が少なかったのが解きやすかったです。

物理は力学は例年通りの難易度で、電磁気は今まで出題されたことのない分野が出ました。電磁気は全く分からなくて、何とか部分点がもらえるようにしましたが、ほとんど白紙で提出しました。物理は来年度も要注意です。

化学は勉強の範囲を過去問でかなり絞っていた上に、今年は予想を外されてしまい思うように解けませんでした。その中でも自分が解ける問題はしっかり解きました。化学で他の受験者と差をつけましょう。

結果として、みんなが解けるような問題は必ず正解し、難しい問題でいかに部分点を稼ぐかということが大事だと思います。まずは情報をたくさん集めて受験内容の全体像を把握してから勉強に取り掛かるのが一番効率が良いと思います。最後に個人的な意見ですが、英語、成績表と口頭試験は気休め程度ですので当日の筆記試験でほぼ決まると考えて、英語に時間をかけ過ぎないようにしましょう。